



もんま 門馬 まりえ 議員

循環型社会

実現に向けた取り組みは

町長／着実かつ確実に取り組む

門馬：福島県では、環境回復や美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現に向けた取り組みの進展等を踏まえ、本件の環境を持続可能なものとして、県民含め団体、事業者、行政すべてが参加し、自分事として取り組み、連携して効果をあげ、次世代に引き継いでいくため「第5次福島県環境基本計画」を策定しました。

物の削減をしていかなければならないと考えますが、本町における一般廃棄物の削減についてどのような取り組みが必要か伺います。
町長：町はこれまで生ごみ処理容器や生ごみ処理機の助成、古着回収や段ボール等の資源ごみ回収を行い、ごみの再資源化を図り循環型社会の形成に取り組んできました。

「第5次福島県環境基本計画」の最終年度である令和12年度末に向けて、美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現へ、着実かつ確実に取り組んでいきます。



ごみは分別して決められた日に出しましょう

この中に「美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現」という基本姿勢があり、具体的な施策の一つに「循環型社会の形成」を目指すことが位置付けられています。

これまでの広報等によるごみの減量思想の啓発を着実に進め、エコバッグ利用によるレジ袋を削減する等の廃

ウクライナ人

避難者受け入れの考えは

町長／受け入れに対応しよう

北郷：ウクライナへのロシア軍侵攻により、多くの人々が国外への避難を強いられ、わが国においてもウクライナからの避難民受け入れを表明しています。

報道では、東日本国際大学がウクライナ人留学生20人程度の受け入れを表明し、5月31日に3人のウクライナ人留学生が入学式に臨んだと報道されました。

全国の自治体において受け入れを表明していますが、町はウクライナ避難民受け入れを考えていますか。

町長：町は、日本赤十字社を通じて、避難生活により困難な生活を強いられているウクライナの人々に募金による支援を行っています。

被災自治体として、避難されたウクライナの人々に寄り添い、困難な状況にある避難民の受け入れ等に対応していきます。

北郷：町は、東日本国際大学と協定を締結し、東日本国際大学付属幼稚園と広野こども園の交流事業、広野中学校におけるグローバルディ事業等を行っています。

東日本国際大学におけるウクライナ人留学生の受け入れについて、町はどのような支援、関わりを考えていますか。

町長：学校等における児童生徒との交流、ひろの未来館に常駐する大学の研究員との学術交流、イベントへの参

加を通じた町民との交流などを通して、留学生の傷ついた心の安寧、安息の場の提供、交流による日本語と日本の文化を学ぶ機会の創出及びコミュニケーションを図る機会を提供し、ウクライナ人留学生に寄り添う支援事業を展開していきます。

北郷：町民や児童生徒等を対象にウクライナ人留学生からのウクライナ国内における状況等の話を聞く機会を設けてはどうですか。

町長：留学生自身が傷つき壮絶な体験をして日本にたどり着いた状況を慎重に勘案し、国家間の平和につながる支援、交流を行っていきます。



募金箱



きたごう みちひろ 北郷 伯弘 議員